



国連食料システムサミット2021 ー世界で議論されていることー



United
Nations



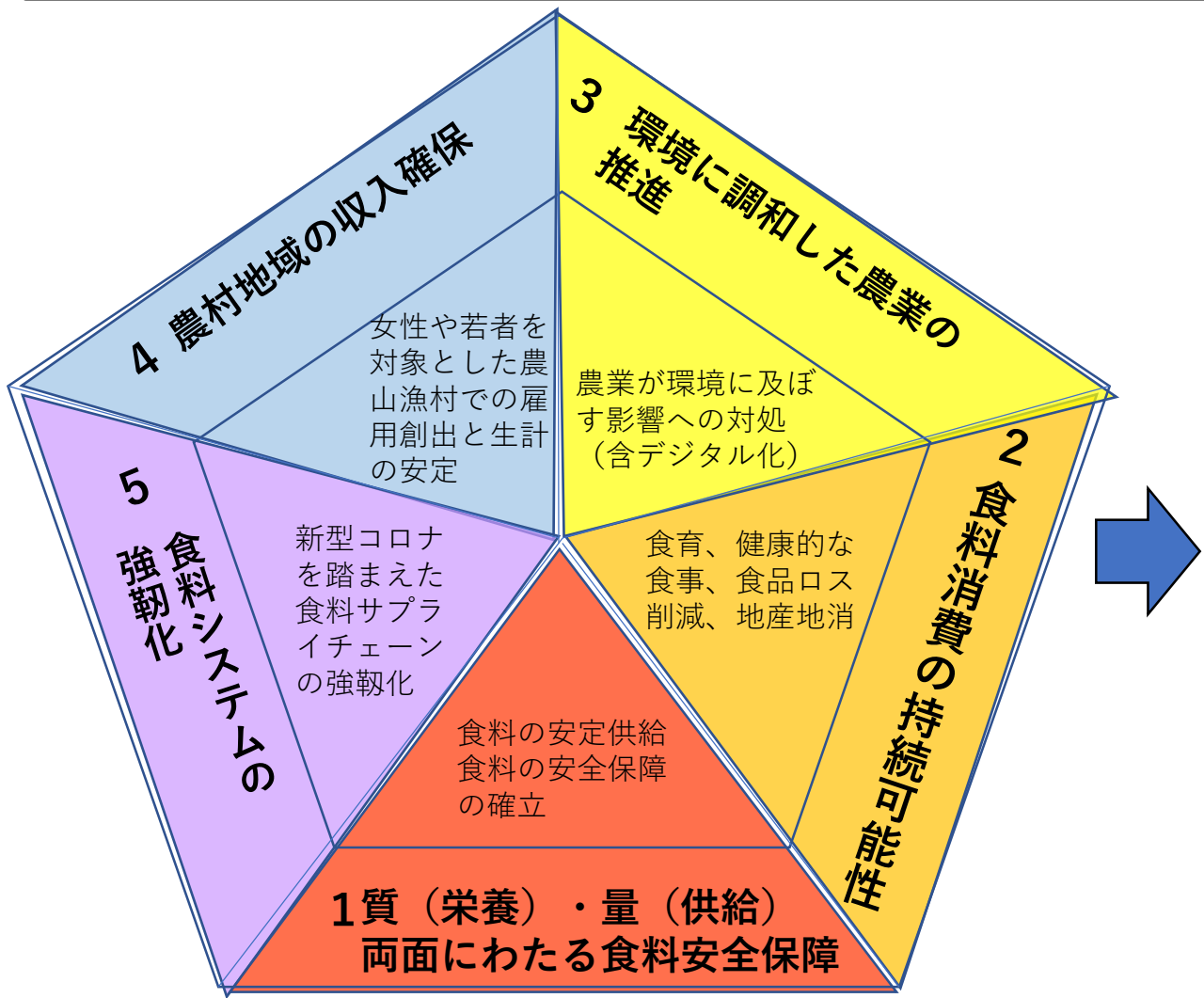
Food Systems Summit 2021

令和2年11月
農林水産省

1. 日時・開催地：2021年9月にニューヨークで開催予定
(これに先立って準備会合が同年初夏にローマで開催予定)
2. 主催者：アントニオ・グテーレス国連事務総長
3. 出席者：各国首脳、閣僚、国際機関の長、市民社会、民間企業等の幅広いステークホルダーを想定。
4. 準備体制：
 - (1) 責任者：サミット特使アグネス・カリバタAGRA※総裁（元ルワンダ農相）
 - (2) 構成等：
 - 諮問委員会：モハメド国連副事務総長が議長。加盟国代表の他、関連する国際機関、農業者、先住民、市民社会、研究者等で構成。
 - 科学グループ：世界中の主要な科学者29名からなるグループ。
日本から北島薫京都大学教授（植物機能生態学）が参加。
 - チャンピオンズネットワーク：若者や先住民の指導者、小農や科学者、栄養や健康を含む各分野の専門家を構成員とするグループ。
日本から石井菜穂子東京大学理事・未来ビジョン研究センター教授が参加。
 - UNタスクフォース：UNEP（国連環境計画）の事務局長が議長を務め、世界銀行や国際通貨基金、その他の多国間機関が参画。それぞれの立場から、食料システムの課題を提供。

※AGRA（アフリカ緑の革命のための同盟）は、アフリカの小規模農家の生産性と生計を向上させ、アフリカの貧困と飢餓の減少に貢献することを目的に立ち上げられた国際組織。ケニアに本部を置く。

- 食料システムサミットでは、SDGs達成を目標にしていることと関係して、多方面にわたるテーマが取り上げられ、それぞれのテーマごとにゲーム・チェンジャー（状況を変える突破口）となるようなコミットメントが求められている。



以下では、各項目ごとに、国連が提供するデータに沿いながら、世界で議論されていることを浮彫りにする。

あくまで国連のデータをまとめたものであり、我が国の見解を示すものではありません。